

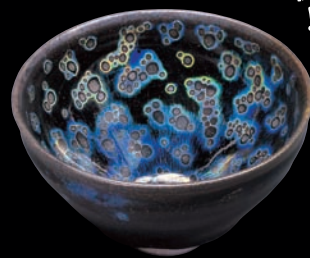
Bizen Swords—The Flower of Japanese Swords

BIZEN

日本刀の華

備前刀
びぜんとう

国宝・曜変天目も併せて公開!



国宝「曜変天目」
中国・南宋時代(12〜13世紀)

重文「古備前高綱太刀」鎌倉時代(12〜13世紀)

2019年
4/13(土) — 6/2(日)

休館日: 毎週月曜日(ただし 4/29、5/6 は開館) 5/7 (火)
開館時間: 午前10時〜午後4時30分(入館は午後4時まで)
入館料: 一般1000円、大高生700円、中学生以下無料
※20名様以上の団体は200円割引

静嘉堂文庫美術館
SEIKADO BUNKO ART MUSEUM
〒157-0076 東京都世田谷区岡本2-23-1
☎03-5777-8600(ハローダイヤル)
<http://www.seikado.or.jp>

平安の古備前刀工へのリスペクト



重文「嘉禎友成太刀」鎌倉時代・嘉禎3年(1237)

イケメン大名・本多平八郎の所持銘入り



「一文字守利太刀」鎌倉時代(13世紀)

長船鍛冶の総帥、華麗なる一振



「長船長光太刀」鎌倉時代(13世紀)

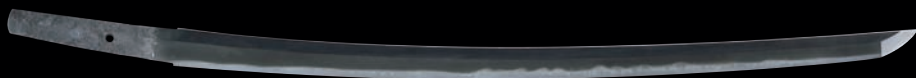
日本刀の主要製作地(山城・大和・備前・相模・美濃)のうち、備前(岡山県南東部)は、上質な原料や水運の利に恵まれ、平安時代より優れた刀工を輩出し、圧倒的な生産量を誇ったことから、今日「刀剣王国」と称されています。備前刀の特徴は、「腰反り」の力強い姿と、柾目を主体とした精緻な地鉄に、「子乱れ」と呼ばれる変化に富んだ刃文とされています。その豪壮にして華やかな作風は、鎌倉武士や戦国武将たちをはじめ、多くの人々を魅了してきました。

本展では、「備前刀の宝庫」として知られる静嘉堂の蔵刀を中心に、重要文化財4振、重要美術品11振を含む銘作約30振を精選し、「古備前」と呼ばれる初期の刀工群から、一文字・長船・畠田・吉井・鶴飼など各流派による作風の展開をたどっていきます。あわせて、江戸時代に幕府の御用をとめた後藤家歴代とその門流(脇後藤)による刀装具を展示します。



「黄金造糸巻太刀拵」(長船長光太刀付属)江戸時代(19世紀)

影の名工、得意の小太刀



重文「長船真長小太刀」鎌倉時代(13~14世紀)

静嘉堂文庫美術館

SEIKADO BUNKO ART MUSEUM

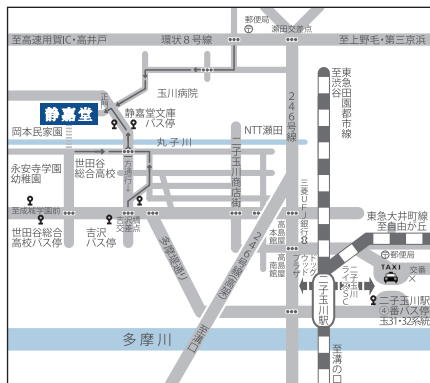
〒157-0076 東京都世田谷区岡本2-23-1

☎03-5777-8600 (ハローダイヤル)

http://www.seikado.or.jp

【アクセス】

- 東急大井町線/田園都市線(地下鉄半蔵門線直通)「二子玉川」駅下車、駅前④番バス乗場より東急コーチバス「玉31・32系統」で「静嘉堂文庫」下車、徒歩5分。または二子玉川駅からのタクシーで約10分。
- 小田急線「成城学園前」駅下車、南口バス乗場から二子玉川駅行きバスで「吉沢」下車、徒歩10分。
- 駐車場が美術館前に約20台あります。美術館入館のお客様は無料でご利用いただけます。



右 後藤「黄石公張良図鐔」(無銘)江戸時代(17世紀)
左 後藤栄兼「二疋狗図」(所物)桃山~江戸時代(17世紀)

【関連イベント】

①講演会

- 4月21日(日) 佐藤寛介氏(東京国立博物館 研究員)「備前刀—その歴史と魅力—」
- 5月26日(日) 吉川永一氏(日本刀剣保存会 幹事)「静嘉堂の備前刀について」

②河野元昭館長のおしゃべりトーク

- 5月5日(日) 「浦上玉堂—酒仙画家」饒舌館長 口演す

※①②は無料。各日午後1時30分~ 地階講堂にて 定員120名。

当日の開館時より整理券配布(1名様につき1枚限定)、整理券の番号順にお入りいただけます。

③職方実演会「日本刀にたずさわる職方の技」(有料・職方の休憩時間以外は随時ご覧いただけます)

- 5月18日(土) 午前10時~12時、13時~16時30分 地階講堂にて
実演：水野美行氏(日本刀鞘師)、小澤茂範氏(刀匠)、川上陽一郎氏(研師)
- ※③の観覧券(300円)は当日受付にて販売(入館料別)。
日本刀制作にたずさわる職人たち—職方のうち、刀匠・研師・鞘師をお招きし、刃文を焼く際の「土置き」や刀剣の研磨、鞘のかき入れ(削り出し)など、刀剣制作の工程の一部をご覧いただけます。

④列品解説

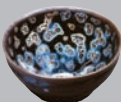
- 午前11時~: 4月27日(土)・6月1日(土) 午後2時~: 5月9日(木)・5月23日(木)

世界に3点のみ現存する国宝「曜変天目」がこの春、同時期に一挙公開!

- ・大徳寺龍光院所蔵品: MIHO MUSEUM「大徳寺龍光院 国宝曜変天目と破草鞋」 3/21~5/19
- ・藤田美術館所蔵品: 奈良国立博物館「国宝の殿堂 藤田美術館展」 4/13~6/9
- ・静嘉堂所蔵品(稲葉天目): 本展の全期間で展示 4/13~6/2

※相互割引(当日入館料から200円引き)実施!

本展会期中、上記2館の展覧会チケット・半券をご提示ください(他の割引との併用不可)



次回展覧会

「書物にみる海外との交流の歴史」(仮)

2019年6月22日(土)~8月4日(日)